

第2次千葉県青少年総合プラン 平成29年度事業評価シート

計画番号 26

事業名	さわやかちば県民プラザ交流事業		
担当課・室・班名	生涯学習課 社会教育振興室	問合せ先(電話番号)	4168

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援					
基本方策	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	・千葉県体験活動ボランティア活動支援センターにおいて、ボランティア活動の情報の収集・提供・相談業務を実施する。 ・体験活動ボランティア講座(入門・実践・スキルアップ)において、ボランティア活動の在り方とその運営について学習する。					
当初予算額(千円)	27年度	713	28年度	708	29年度	596
決算額(千円)	27年度	647	28年度	624	29年度	474
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

○体験活動・ボランティア活動に関する情報の収集・提供・相談 ・情報収集数 191件、情報提供数 121件 ・生涯学習相談 299件 ・体験活動ボランティア活動支援センターにおける相談 414件 ○体験活動ボランティア講座(入門・実践・スキルアップ)の実施 ・入門講座 参加者12名 ・実践講座 参加者21名 ・スキルアップ講座 参加者40名 ○ボランティア活動に関心のある千葉県内の高校生を対象に、様々な分野のボランティア学習と演習及び実践の実施 ・高校生のためのボランティア体験講座 全6回 参加者 延べ 186名 ○若者のボランティア活動・体験活動等の実践や成果を展示・発表するイベント、小学生による体験活動を中心とした講座の実施 ・ヤングパワームーブメント 参加者2,665名 ・子どもチャレンジプロジェクト 参加者2,285名

(2) 事業の成果

・事業を通して、ボランティアに対する見識を深められた。また、受講者のボランティアに対する意識の向上が見られた。 ・オリンピック・パラリンピックのボランティア活動等、時代の要請に応じた内容の工夫をしたことで、受講者の満足度は高かった。 ・スキルアップ講座の最後に参加者同士の情報交換会の実施、参加者全員の名刺を印刷して配布をしたことで、参加者同士のネットワークを広げる一助となった。
--

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・応募者が昨年度より増加したが、まだまだ定員に満たない状況である。参加者の増加を図るために、周知の工夫を行う他、出前講座を行うなどの工夫が必要である。 ・ヤングパワームーブメントは、若者の企画が毎年同様の内容になっているため、見直しが必要である。若者によるまちづくりという視点で事業展開していく予定である。
--

4 委員意見

(This area is currently blank in the provided image.)

第2次千葉県青少年総合プラン 平成29年度事業評価シート

計画番号 27

事業名	千葉県NPO・ボランティア情報ネットの運営		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 県民活動推進班	問合せ先(電話番号)	4133

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援					
基本方策	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	市民活動団体の活動やボランティア活動に対する県民の関心を高め参加につなげていくため、市民活動団体の活動情報や支援情報、ボランティア活動情報などを提供する。					
当初予算額(千円)	27年度	966	28年度	1,817	29年度	966
決算額(千円)	27年度	908	28年度	1,499	29年度	648
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

○アクセス件数
 ・県ホームページ(「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」関連ページ)ページビュー数:563,248件
 ○情報発信件数
 ・民間団体等からの助成情報 84件
 ・千葉県が募集しているボランティア情報 23件

(2) 事業の成果

・「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」については、アクセス件数の多いものをページ上部にすることで、スマートフォンでも必要なページにアクセスしやすいようにするなどの工夫し、助成情報等の県民活動に資する情報を提供した。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」については、今後も民間団体等の助成情報や各種ボランティアに関する情報等を随時更新するなど、充実した情報発信に努める。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成29年度事業評価シート

計画番号 28

事業名	県民活動普及啓発イベントの開催		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 県民活動推進班	問合せ先(電話番号)	4133

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援					
基本方針	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	NPO法施行日である12月1日前後の1カ月(11/23～12/23)を「ちば県民活動PR月間」とし、県民に県民活動(NPO・ボランティア活動)を知ってもらい、活動への参加に繋がるようなイベントを行う市町村や市民活動団体へ広報支援を行う。					
当初予算額(千円)	27年度	1065	28年度	-	29年度	-
決算額(千円)	27年度	1029	28年度	-	29年度	-
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○					

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・ちば県民活動PR月間賛同行事へのグッズ提供による広報支援を行った。
市町村賛同行事:21件
市民活動団体賛同行事:6件

(2) 事業の成果

・ちば県民活動PR月間賛同行事への広報支援により、賛同行事を通して県民活動の普及啓発を行った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・今後もより多くの方に市民活動団体について理解を深めていただくとともに、継続的な県民活動につなげていくための工夫が重要となる。

4 委員意見

--

第2次千葉県青少年総合プラン 平成29年度事業評価シート

計画番号 29

事業名	ボランティア活動支援体制整備事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 県民活動推進班	問合せ先(電話番号)	4133

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援					
基本方策	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	県全体のボランティア活動の推進を図るため、活動体験等を通じた地域のボランティア活動への参加のきっかけづくりを行う事業を実施する。					
当初予算額(千円)	27年度	1,560	28年度	1,550	29年度	1,550
決算額(千円)	27年度	1,397	28年度	1,203	29年度	980
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

<p>①プロジェクト結「みんなで行うおもてなし」 (ワークショップ(5回)作り隊236名、伝え隊140名、渡し隊8名+5団体)(完成した箸置きセット数 691セット、渡し隊にお願いした箸置き500セット)</p> <p>②特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば 「2020ちばおもてなし隊 チャレンジステージ～参画と繋がり～」 (点検隊(3回)、166名参加)(体験会(2回)、186名参加)(発表会137名参加)</p>
--

(2) 事業の成果

<p>①では、ワークショップを5回開催。訪日外国人にプレゼントする和紙で作る箸置きの工程を細分化し、誰でもできる簡単な作業、短時間でのボランティアを可能にした。これまでボランティアができなかった層への参加促進を図るものとなった。</p> <p>②では、点検隊、競技体験会、発表会を開催。体験を通してパラリンピックボランティアへの理解を深め、ボランティア参画に向けたアイデア実現の提案を行い、若い世代のボランティア活動参加促進に繋がるものとなった。</p>

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<p>今後は、事業の企画提案に係る応募件数の増加、また各事業の参加者の増加を図るため、広報について工夫する必要がある。</p>

4 委員意見

--

第2次千葉県青少年総合プラン 平成29年度事業評価シート

計画番号 30

事業名	ライトブルー少年賞事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援					
基本方針	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	郷土千葉県の新しい時代を担う、心豊かなたくましい青少年を育成するため、青少年の善意や親切心に基づく善行を広く表彰し活動を称えるとともに、その気運を広めていく。					
当初予算額(千円)	27年度	392	28年度	392	29年度	392
決算額(千円)	27年度	323	28年度	190	29年度	245
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

- ・善行少年・団体の選考会議(11/17)
- ・表彰式の開催(1/31) 個人の部 5件、団体の部 5件
- ・受賞者・受賞団体名簿の作成・配布

(2) 事業の成果

- ・青少年の善意や親切心に基づく善行を表彰し、受賞者名簿を配布する等でその活動を広めることにより、社会形成・青少年の社会参加支援に寄与した。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

- ・引き続き、青少年の善意や親切心に基づく善行を広く表彰し活動を称えるとともに、その気運を広めていくこととする。

4 委員意見

--

第2次千葉県青少年総合プラン 平成29年度事業評価シート

計画番号 31

事業名	内閣府青年国際交流事業における参加青年の選考		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援					
基本方針	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	諸外国との青年の交流により、青年相互の理解と友好を促進し、青年の国際的視野を広めて、国際協調の精神を養い、次代を担うにふさわしい青少年を育成することを目的とする、内閣府の青年国際交流事業について、千葉県の参加青年を選考し推薦する。					
当初予算額(千円)	27年度	-	28年度	-	29年度	-
決算額(千円)	27年度	-	28年度	-	29年度	-
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> ・県内各市町村、地域振興事務所、青少年団体、県内図書館等への参加青年募集案内の配布や、千葉県ホームページへの募集情報の掲載、庁内での事業紹介及び参加青年募集の掲示物の展示等により広報を実施した。 ・千葉県推薦者選考会議を開催し、千葉県在住の応募者の中から内閣府へ推薦する参加青年を選考した。平成29年度は本県において21名の応募があり、本県及び内閣府における選考を経てその内9名が事業に参加した。

(2) 事業の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・本事業に参加した千葉県青年が諸外国青年との理解と友好を深め、国際的視野を広げ、国際協調の精神を養った。
--

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、より多くの千葉県青年が本事業の趣旨を十分に理解した上で本事業へ応募できるよう、広報実施方法について取り組みが必要である。

4 委員意見

--

第2次千葉県青少年総合プラン 平成29年度事業評価シート

計画番号 32

事業名	幕張アジアアカデミー事業		
担当課・室・班名	国際課 国際交流協力室	問合せ先(電話番号)	2394

1 事業の概要

柱	1 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援					
基本方針	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	アジア経済研究所開発スクールで研修中のアジア・アフリカからの行政官等が、県内の高校生に対して、自国の文化等についての特別講義(使用言語:英語)を行う「アジア総合学科」を実施する。					
当初予算額(千円)	27年度	32	28年度	32	29年度	32
決算額(千円)	27年度	—	28年度	—	29年度	—
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・アジア経済研究所の協力により、公立校5校、私立校5校の計10校で、幕張アジアアカデミー「アジア総合学科」を実施した。

(2) 事業の成果

・アジアやアフリカの行政官等から、自国の文化・政治・経済を学ぶとともに、生徒が自ら発言する機会が設定されるなどの工夫がなされ、生徒が主体的に取り組むことができる内容となった。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・生徒が開発途上国の文化・政治・経済について当該国の行政官から直接聞く機会は、海外への関心・理解の向上に資するので、継続して実施する。

4 委員意見

--

第2次千葉県青少年総合プラン 平成29年度事業評価シート

計画番号 33

事業名	東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業		
担当課・室・班名	体育課	オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援班	問合せ先(電話番号) 4101

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援					
基本方針	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	東京オリンピック・パラリンピックに千葉県出身の選手が一人でも多く出場し、県民に元気と勇気を与えることができるよう、関係競技団体と連携し、計画的にアスリートの強化を図る。					
当初予算額(千円)	27年度	100,000	28年度	100,000	29年度	100,000
決算額(千円)	27年度	99,998	28年度	99,962	29年度	99,579
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・オリンピック部分では、昨年度までの基礎強化を廃止し、特別強化指定121名を指定し強化・支援した。
 ・パラリンピック部分では、基礎強化指定36名と2団体、特別強化指定55名を指定し強化・支援した。

(2) 事業の成果

・強化指定選手の中から、世界選手権での優勝者や入賞者を輩出することができ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて期待できる結果を得られた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・開催を2年後に控え、より重点的に出場可能性の高い選手に支援できるよう取り組む。
 ・障害者スポーツは、競技人口や競技団体が少ないことから、パラリンピック出場可能性の高い選手を、一般社団法人千葉県障がい者スポーツ協会等と連携を図ってゆく。

4 委員意見

--